

みんなの要求みんなて実現！ 広げよう共同の輪！

大阪春闘共闘ニュー

No.31 2010年5月10日

〒530-0034

大阪市北区錦町2-2

大阪労連気付

TEL (06) 6353-6421

大阪労連春闘共闘第4回代表者会議開く

メーデーも成功させ、連休が開けた5月6日、春闘共闘第4回代表者会議を開催しました。

春闘共闘の宮武事務局長は、「最低賃金と公契約条例が労働者の生活保障での大きな柱。最低賃金については、仏教大学の金沢誠一さんたちが、数千人に及ぶ持ち物調査を実施し最低生計費を算出した結果、都市と地方で大差なく、23万円が目安であった。全国最低一律賃金の要求は説得力を持つ。」と紹介しました。公契約についても、東大阪、吹田、枚方、堺で懇談を持ち、今後も行政も巻き込んだシンポや懇談を計画していく方針を報告しました。

賃上げについては、国民春闘共闘の情報では、単純平均で前年度月を上回って、単純平均5401円（昨年同期5310円）と奮闘していますが、パートなど非正規労働者の賃上げは時間給16,2円（前年比2.8円減）と、課題を残しています。

当日の発言から

① 生協労連

4月末決着で取り組んだが、正規はベアゼロ。去年は6単組あったのだが。

パートに関しても、去年は2桁アップの回答があったのに、今年は一単組だけが成果。パートは定昇がない単組の場合、まったくゼロになる。結局4月末決着は一単組だけ。後は5月、6月決着。

パートが多いので、最低賃金あげることが目標。

民主党は公約にあげていたのになにもしない。民主党の国会議員の地元事務所に要請していく。

② 国労

貨物会社の定昇凍結にたいするたたかいが検討課題。

4月26日の国労臨時大会で解決案を受諾した。非組合員などは含まれないので910名。

今後は約200名の雇用問題が残っている。人道的立場で雇用をまもれと迫っていく。

③ 自交総連

「タクシーの大幅減車」に取り組んでいる。4月14日に全国で3100人が行動シマスコミも報道。

タクシー労働者の賃金は最低賃金法にひっかかるほどで、問題にしている。

④ 大教組

3月末に府人事委員会が賃金システムの研究結果を報告した。

民間給与実態調査は夏の人事院勧告に向けた実態調査だが、国の民間給与実態調査が50人以上の事業所を対象にしているのに対し、事業所規模を大阪独自で30人に下げることが検討された。実質公務員の賃下げにつながるためだが、府は調査対象の民間事業所の規模を独自で縮小するのは無理だと判断した。しかし、次の手段として、厚労省の「賃金センサス」を使おうとしている。

「賃金センサス」は、毎年厚労省が実施している賃金構造基本統計調査の結果で、調査対象は常用労働者10人以上の事業所であり、さらに低い民間労働者の基準にあわせようとしている。橋下知事は、新たな財政再建プログラムとして、全国最低の府職員賃金のさらなる切り下げをめざして、先ほどのような府独自の給与表を作ろうとしている。官民共同で内需拡大させて景気回復のたたかいが重要。参議院選挙はそ

の点でも大事だと思っている。

⑤ 通信労組

NTT労組がベア要求しないなかで、職場では春闘に期待できないという気持ち大きい。

NTT労組は特別手当だけ要求。60歳以上の契約社員にだけ少し勝ち取った。

9兆5千億円の内部留保を労働者に回せと運動をしているが、この声をもっと大きくしたい。

NTT労組から通信労組に加入する人が増えているが、50歳定年制のもと、50歳を超えて本体に残ることを選択した人は、7月の異動で松山や広島に遠隔地配転される可能性がある。不利益を被らせない運動をしていく。

⑥ 国公

マスコミを使って公務員賃下げのムードづくりがされている。

事業仕分けがすすめられているが、それ以前から「雇用能力開発機構」廃止法案を提出しようとしている。

「雇用を継続しない」と明記して提案。正規職員の解雇をすすめることになる。第2の社保庁になる可能性。こんな不当労働行為法案を阻止しよう運動している。

⑦ パート部会

ある生協では、「不満があるならよそへ行ってくれ」と回答したと聞いて怒りとおどろき。

4月18日のレクリエーションの時、参加者に「春闘はどうですか？」と聞いたら「まったくわかりません」との返事。みんなで取り組む春闘にしていかななくては。

宮武事務局長は、まとめの中で「先日『私鉄連帯する会』の総会に行った。連合の阪急労組が『内部留保を活用せよ』と要求していると聞きおどろいた。『連帯する会』が、私鉄総連も認めざるをえない運動を作ってきた到達だと思う。今後、大企業の労働者どう連帯して、影響を与えていけるのか検討する必要を感じている。」と述べました。

第5回春闘共闘代表者会議（最終）は

5月31日（月）18：30です。懇親会も兼ねますので、場所は後日連絡します。

しばた分会支援共闘会議総会 5月7日

「しばた分会」は、3月11日の突然の倒産宣告以来、会社に泊まり込んで、たたかってきました。昨年7月に結成された「しばた分会支援共闘会議」は、あらたな情勢のもとで第2回総会をしばた社屋で開催し、今後の方針と体制を確認しました。弁護団の梅田章二さんは「最近まで組合運動を知らなかった若い人たちが、短期間でこのようなたたかいを展開し、団結を守ってきた。これはすばらしい財産だ。」と連帯挨拶。今後分会は自主再建をめざすことを確認しています。新事務局長は全国一般の東中貢さんが承認されました。

